

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金配当支払株主確定日	毎年3月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年9月30日
基準日	毎年3月31日 (そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	当社ホームページ http://www.ichikoh.com/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行なっております。
単元株式数	1,000株

- ・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別
口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

a Light, a Life
ICHIKOH

市光工業株式会社 〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL.0463-96-1451 FAX.0463-96-2080 URL : <http://www.ichikoh.com/>

ホームページのご案内

会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。

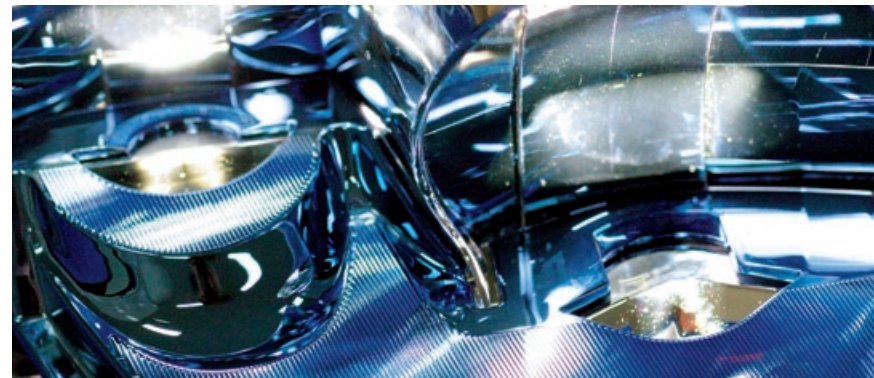
<http://www.ichikoh.com/>



BUSINESS REPORT

第82期 報告書

2011年4月1日から2012年3月31日まで



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



ICHIKOH

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに当社グループの2011年度の事業概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、前半は東日本大震災や電力不足等が企業活動に大きな影響を及ぼし、後半にはタイにおける洪水被害、円高の長期化等により厳しい状況が続きましたが、サプライチェーンの復旧や復興需要等により、景気は徐々に持ち直してまいりました。一方、世界経済においては、中国、インド等の新興国では堅調な成長が続くものの、欧州における財政問題の先行きの不透明感から、予断を許さない状況が続きました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、前半は震災の影響により大幅に生産台数が減少しましたが、後半には震災からの復旧により生産が回復し、自動車生産台数は前年に比べ3.0%の増加となりました。

このような環境の下、当社グループは、強固な企業体質を目指し、利益確保を最優先にグループ一丸となって、一層の経費低減に加え、あらゆる合理化に取り組んでまいりました。その結果、当連結会計年度における売上高は

87,839百万円（前期比5.1%減）、営業利益は2,905百万円（前期比3.7%減）、経常利益は4,426百万円（前期比12.2%増）となりました。また、子会社清算損754百万円、製品保証引当金繰入額723百万円、退職給付制度終了損587百万円、特別調査費用452百万円、退職特別加算金192百万円を特別損失に計上したこと等により、当期純利益は1,416百万円（前期比130.1%増）となりました。

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題と考えており、安定的で継続的な配当を行うことを基本方針としております。しかしながら、当期の配当につきましては、将来の成長へ繋がる設備投資資金の確保や内部留保の充実を図るため、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

次期の見通しにつきましては、国内においては、震災からの復興が進むほかエコカー補助金の効果等により、自動車生産台数の増加が見込まれます。世界経済においては、アジアを中心とした新興国の成長はあるものの、欧州債務問題による景気減速懸念が払拭されず、引き続き不透明な状況が続くものと思われます。

当社グループはこのような環境の下、引き続き固定費の抑制、合理化活動に努め、さらにグローバル競争に勝ち残るため、生産効率の向上による収益改善活動を行ってまいります。このほか、品質・信頼性向上を目指しグループ全体で更なる成長を目指し、業務遂行に努めてまいります。

当社グループは、「お客様の満足」を最優先に置くことを基本方針とし、「成長」を経営理念に、「最高品質」、「アジアグローバル戦略」、「競争力ある価格・サービス」、「先進技術」の4つの方針を掲げ、スピード感ある企業として更なる経営改革・事業改革・業務改革に取り組んでおります。また、コンプライアンスの強化を図ると共に、たゆまぬ技術革新を進め、環境保全、省エネルギー化に対応していくことで社会に貢献できるよう、事業活動を推進してまいります。

なお、当社は、米国司法省および欧州委員会より自動車部品事業に関する情報の提供を求められております。また、本年3月13日に、自動車用ランプ取引に関して独占禁止法違反の疑いがあるとして、公正取引委員会による立ち入り検査を受けております。当社は、これら当局に対して全面的に協力しております。

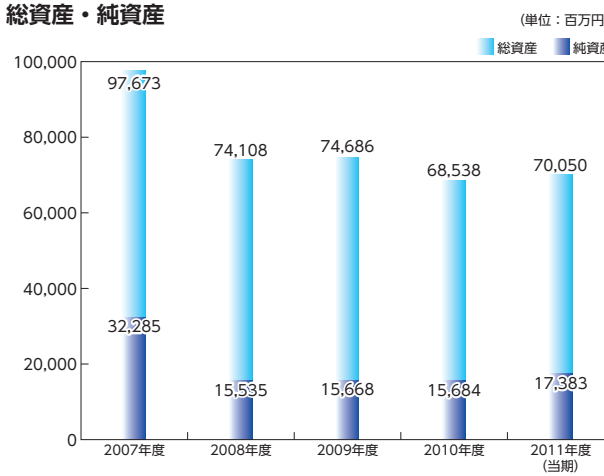
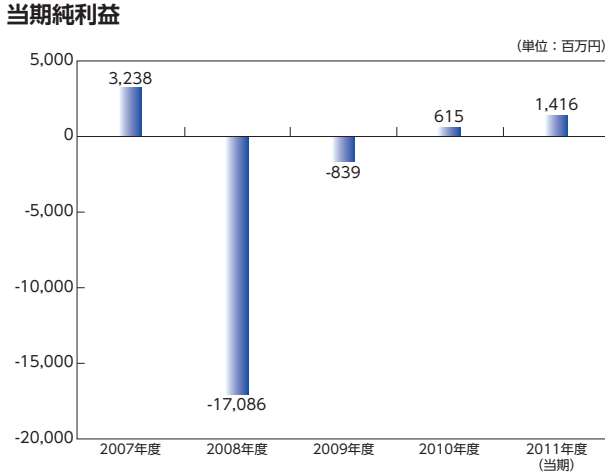
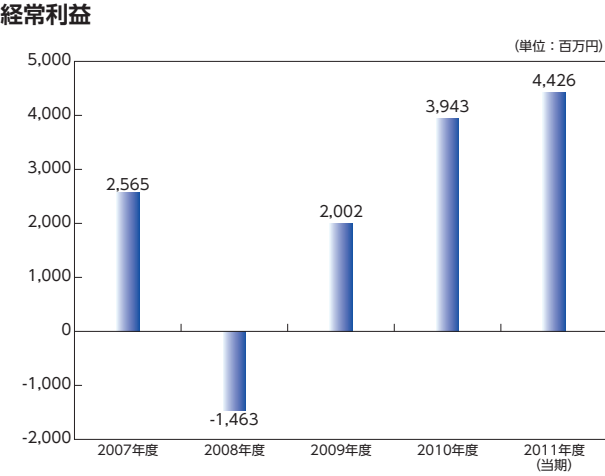
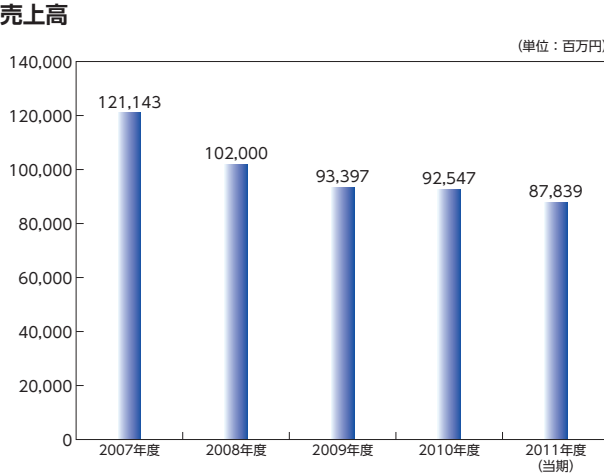
株主の皆さまをはじめ、関係者の皆さまに多大なご心配、ご迷惑をおかけしたことに對此ここに深くお詫び申し上げます。

今後はかかる事態と決別すべく、当社グループの業務に携わる全ての関係者のコンプライアンス意識を向上させると共に、グループおよび社内体制の整備をこれまで以上に強化してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



連結財務ハイライト



ICHIKOH、LEDヘッドランプでPACEアワードのファイナリストに



2012年4月23日、デトロイトのマックスM. フィッシャー・ミュージック・センターで2012年オートモーティブニュース「PACE (Premier Automotive Suppliers' Contribution to Excellence) アワード」の表彰式が行われ、リーフのLEDヘッドランプでファイナリスト（最終ノミネート候補）となったICHIKOHから、社長のオードバディと、



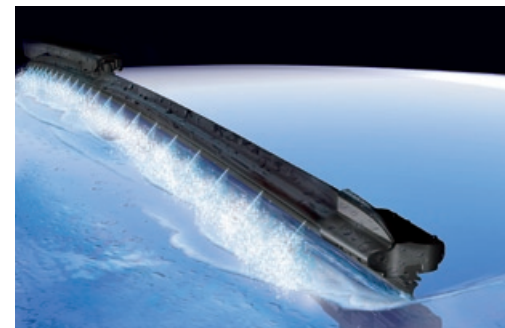
リーフのLEDヘッドランプ

執行役員の中西、研究開発部長のバルトムフの3名が参加しました。オートモーティブニュースの「PACEアワード」は、自動車業界に貢献する卓越したイノベーションや業績をあげたサプライヤーに与えられる賞で、自動車業界におけるイノベーションのベンチマークとして世界的に知られるものです。今回ICHIKOHは、残念ながら「PACEアワード」を逃しましたが、栄えある賞のファイナリストにノミネートされる事自体、大変名誉なことです。今後もVALEOとICHIKOHグループの継続的なイノベーションに期待が掛かります。



VALEOはAquaBladeで、栄えある「PACEアワード」を受賞

この日、VALEOが開発したワイパーシステムAquaBladeは、栄えある「PACEアワード」を受賞。2013モデルのメルセデス・ベンツ SLクラスに採用されています。AquaBladeは、内蔵したチューブを通してウォッシャー液をブレードに設けた穴に直接供給し、拭き取ります。これによって、ウインドーを洗淨している間も視界を妨げず、ウォッシャー液の使用量も半減することで軽量化にも貢献します。



ヴァレオ ビジビリティシステムビジネスグループの社長であるアントワヌ ドットゥリオは、「業界で最も革新的な会社のひとつとしてこの栄誉を受けることを大変光栄に思います」と語りました。

独禁法コンプライアンスセミナー開催



4月18日、伊勢原 i-wingに国内外の関係会社の代表を集め、独禁法（競争法）コンプライアンスセミナーが行われました。近年、自動車部品メーカーの独禁法違反（談合・カルテル）による巨額の罰金や、担当者への禁固刑が話題となっていますが、今回のセミナーは、不正はあってはならないというオードバディ社長の意向を受け、これら違反行為の発生防止を目的に、経営企画室の法務課が開催しているものです。独禁法コンプライアンスセミナーは、既に昨年12月の営業本部を皮切りに実施されており、今後も各地区で継続的に実施される予定です。



講師の山田弁護士

講師の山田弁護士からは、最近起きた自動車部品のカルテルに対して科せられた罰金の額や従業員への実刑について具体例が挙げられ、傾向として、巨額の罰金や、刑事罰、対象となる国の増加などが紹介されました。



違反によりもたらされる結果に対する理解を深め、独禁法問題について認識を新たにする良い機会になったと思います。



従業員の防災意識を高めるため、伊勢原i-wingで、本格的な消防訓練実施



2012年3月7日（水）、伊勢原製造所で大規模災害を想定した避難訓練が行われました。今回の訓練は、伊勢原市消防本部および伊勢原市消防団の協力の下、より実際の災害発生に近い状況を再現し、被害を最小限に抑えることを目的に行われたものです。当日は、房総半島沖を震源とするM7の大地震が発生、i-wingの3階中央より出火し、逃げ遅れた従業員数名が屋上で救助を待つという想定で行われました。実際に消防車や梯子車が出動し、消防隊員による必死の放水活動と共に、屋上に避難した従業員を梯子車が救出するという、臨場感溢れる迫真の消防訓練に多くの従業員が参加しました。



この日は、オードバディ社長も日本語で挨拶。従業員の安全を願うと同時に、昨年の3.11の大地震の被害者に黙祷を捧げました。



連結貸借対照表

(単位：百万円)					
科 目	当連結会計年度 2012年3月31日	前連結会計年度 2011年3月31日	科 目	当連結会計年度 2012年3月31日	前連結会計年度 2011年3月31日
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	40,800	37,336	流 動 負 債	33,499	30,627
現 金 及 び 預 金	15,273	13,717	支 払 手 形 及 び 買 掛 金	16,102	12,454
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	15,687	13,648	短 期 借 入 金	1,736	2,455
電 子 記 録 債 権	829	－	1年内返済予定の長期借入金	5,560	6,702
有 価 証 券	8	8	リ ー ス 債 務	1,995	2,610
商 品 及 び 製 品	3,985	3,177	未 払 法 人 税 等	209	375
仕 掛 品	1,018	1,170	未 払 費 用	3,048	1,574
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	1,741	2,243	製 品 保 証 引 当 金	1,316	1,496
繰 延 税 金 資 産	111	80	環 境 対 策 引 当 金	940	1,604
そ の 他	2,398	3,513	そ の 他	2,589	1,352
貸 倒 引 当 金	△ 252	△ 223	固 定 負 債	19,167	22,227
固 定 資 産	29,249	31,202	長 期 借 入 金	8,641	11,720
有 形 固 定 資 産	22,319	24,499	リ ー ス 債 務	1,146	2,457
建 物 及 び 構 築 物	7,621	8,099	退 職 給 付 引 当 金	7,868	7,321
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	4,792	5,450	繰 延 税 金 負 債	173	73
工 具、器 具 及 び 備 品	1,027	1,346	そ の 他	1,337	654
土 地	3,928	3,968	負 債 合 計	52,666	52,854
リ ー ス 資 産	2,976	4,870	純 資 産 の 部		
建 設 仮 勘 定	1,972	763	株 主 資 本	16,991	15,725
無 形 固 定 資 産	232	286	資 本 金	8,929	8,929
投資その他の資産	6,696	6,416	資 本 剰 余 金	2,708	2,708
投 資 有 価 証 券	3,894	3,822	利 益 剰 余 金	5,383	4,117
繰 延 税 金 資 産	114	151	自 己 株 式	△ 30	△ 30
そ の 他	2,692	2,471	その他の包括利益累計額	△ 1,931	△ 2,460
貸 倒 引 当 金	△ 4	△ 28	その他有価証券評価差額金	106	△ 135
資 産 合 計	70,050	68,538	為 替 換 算 調 整 勘 定	△ 2,038	△ 2,325
			少 数 株 主 持 分	2,324	2,419
			純 資 産 合 計	17,383	15,684
			負 債 純 資 産 合 計	70,050	68,538

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)		
科 目	当連結会計年度 2011年4月 1 日から 2012年3月31日まで	前連結会計年度 2010年4月 1 日から 2011年3月31日まで
売 上 高	87,839	92,547
売 上 原 価	72,769	77,505
売 上 総 利 益	15,069	15,041
販売費及び一般管理費	12,164	12,026
営 業 利 益	2,905	3,015
営 業 外 収 益	2,483	1,794
営 業 外 費 用	962	866
経 常 利 益	4,426	3,943
特 別 利 益	405	360
特 別 損 失	2,953	2,966
税金等調整前当期純利益	1,878	1,337
法 人 税 等	362	364
少数株主損益調整前当期純利益	1,515	973
少 数 株 主 利 益	99	358
当 期 純 利 益	1,416	615

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（2011年4月1日から2012年3月31日まで）									(単位：百万円)	
	株 主 資 本					その他の包括利益累計額			少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自 己 株式	株主資本 合 計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
2011年4月1日残高	8,929	2,708	4,117	△30	15,725	△135	△2,325	△2,460	2,419	15,684
当期変動額										
当期純利益			1,416		1,416					1,416
自己株式の取得				△0	△0					△0
連結範囲の変動			△149		△149					△149
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						241	310	551	△95	455
連結範囲の変動に伴う 為替換算調整勘定の増減							△22	△22		△22
当期変動額合計	－	－	1,266	△0	1,265	241	287	528	△95	1,698
2012年3月31日残高	8,929	2,708	5,383	△30	16,991	106	△2,038	△1,931	2,324	17,383

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)		
科 目	当連結会計年度 2011年4月 1 日から 2012年3月31日まで	前連結会計年度 2010年4月 1 日から 2011年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,631	9,482
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,048	542
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,221	△ 7,579
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 82	△ 71
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,278	2,374
現金及び現金同等物の期首残高	12,706	10,332
連結範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額（△は減少）	1,003	－
現金及び現金同等物の期末残高	14,988	12,706

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式の状況 (2012年3月31日現在)

株式の総数および資本金

資 本 金	8,929,538,428円
発行済株式の総数	96,036,851株
発行可能株式総数	200,000,000株
株 主 数	8,051名

大株主 (上位10名)

株 主 名	当 社 へ の 出 資 状 況	
	持 株 数	持 株 比 率
ヴァレオ・バイエン	30,339 千株	31.63 %
トヨタ自動車株式会社	5,869	6.12
株式会社みずほコーポレート銀行	4,775	4.98
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,688	3.85
日本生命保険相互会社	3,687	3.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,326	3.46
ダイハツ工業株式会社	2,712	2.83
三菱UFJ信託銀行株式会社	2,344	2.44
みずほ信託銀行株式会社	1,913	1.99
株式会社三井住友銀行	1,231	1.28

(注) 1. 持株比率は自己株式（125,845株）を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
2. 発行済株式の総数の10分の1以上の数を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しています。
3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、3,326千株であります。

会社概要 (2012年3月31日現在)

商 号	市光工業株式会社
設 立	1939年12月20日
事 業 所	
本社・テクニカルセンター	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
伊勢原製造所	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
藤岡製造所	〒375-8508 群馬県藤岡市東平井1467 TEL 0274 (23) 2211
ミラー製造所	〒375-8507 群馬県藤岡市藤岡1360 TEL 0274 (23) 2121
中部支店	〒465-0025 愛知県名古屋市名東区上社4-130 TEL 052 (709) 2011
札幌営業 (アフターパーツセールス課)	〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西4-2-2 TEL 011 (232) 0654
熊谷営業	〒360-0031 埼玉県熊谷市末広2-118 TEL 048 (501) 1815
大阪営業	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-16-3 TEL 06 (6384) 6551
飯田橋営業 (カスタマーパーツセールス課)	〒112-0005 東京都文京区水道1-12-15 TEL 03 (5805) 1790

使用人数

連 結	2,806 (792) 名
単 体	1,720 (141) 名

(注) 使用人数は契約期間に定めのない使用人であり、パートおよび派遣社員等、契約期間に定めのある使用人は（ ）内に外数で記載しています。

取締役および監査役(2012年6月22日現在)

代表取締役社長	オードバディ アリ
取 締 役 専務執行役員	安 藤 信 雄
取 締 役 専務執行役員	井 上 誠一郎
取 締 役 常務執行役員	佐 藤 直 行
取 締 役 常務執行役員	宮 下 和 之
取 締 役 常務執行役員	志 田 哲 也
取 締 役	アントワヌ ドットウリオ
取 締 役	齋 藤 隆 次
常勤監査役	住 野 稠 生
監 査 役	鶴 巻 暁
監 査 役	スベストル ピエール